

議員全員協議会

全議員に重要な取り組みの説明がありました

「重要伝統的建造物群保存地区(重伝建地区)選定に伴う

固定資産税の軽減措置」について

重伝建地区の概要

文化財保護法に基づき、わが国にとって特に価値が高いと認められたものが重伝建地区です。(全国の認定地区数126)

令和3年8月、厳島神社の周囲に形成された門前町としての宮島の町並み約16.8haが、この重伝建地区として国から選定されました。

重伝建地区に認定されれば、同地区保存のための費用補助、固定資産税、相続税評価額の軽減など、優遇措置を受けることができます。

固定資産税の軽減措置

1、家屋分

地方税法の規定により、同地区内の伝統的建造物のうち、既に非課税となっている寺社以外の建造物の固定資産税が非課税となります。

(影響額約80万円)

2、土地分

同地区内の敷地のうち、既に非課税となっている境内地等以外の指定敷地の固定資産税額の2分の1が特例条例制定により軽減される予定です。(影響額約200万円)※

※税込減分のうち、土地分軽減税額の37.5%相当額は特別交付税措置されず。

主なQ & A

Q 特例条例制定により、対象不動産を有償で貸し付けている場合も、固定資産税を非課税または軽減する予定にしているのはなぜか。

A 文化財保護法の近年の傾向も踏まえ、対象不動産を遺していくためには、ただ保存するだけでなく、活用していく観点も必要のため、優遇したい。

Q 他自治体で前例がないとのことだが、本市がそうする理由は何か。

A 本市の重伝建地区は、わが国が誇る重要なものであるとの本市の

強い意思を発信するためにも、市民へ分かりやすい説明をし、特例条例を制定していきたい。

廿日市市宮島町重要伝統的建造物群保存地区範囲



環境産業常任委員会 道の駅スパ羅漢及び魅惑の里の今後の方針について

施設整備から30年近くが経過し、修繕や運営について課題のあった道の駅スパ羅漢及び吉和魅惑の里について、財産の売却を視野に入れた民間活力の導入など、今後の活用方針案が示されました。

民間活用の可能性と課題

〈道の駅スパ羅漢〉

可能性：複数事業者が興味を示しており、民間投資の可能性がある。
課題：①経年劣化による大規模改修が必要。

②「道の駅」として民間企業が認定を受けるにはハードルが高い。

③営利活動と両立し、交通情報提供の機能確保が必要。

④国・県・市など施設で所有が異なり、民間活用には調整が必要。

⑤敷地が狭いため駐車場などの施設拡充が困難。

〈吉和魅惑の里〉

可能性：複数事業者が活用に興味を示しており、施設の可能性に対する民間企業の期待は大きい。

課題：芝広場を中心とした景観評価は高いが、宿泊施設が集積した西エリアと、建物が少ない東エリアに活用意見が分かれる。

民間活力導入に向けた基本方針

〈道の駅スパ羅漢〉

民間事業者の評価は高いが、民間事業者を設置者とする課題も多く、当面は指定管理を継続。施設の抜本的改修について、市負担が軽減できる手法（PFI事業など）を検討する。

〈吉和魅惑の里〉

①設置目的を重視し、市の関与を残しつつ新たな民間参入を促す。
②民間売却や貸与により、自由度と魅力を高め、市の財政負担を軽減。
③企業の投資や活躍できる場を提供するため、エリア分けを検討。

令和3年度指定管理更新の方針

〈道の駅スパ羅漢〉

3年の期間で公募により選定。

〈吉和魅惑の里〉

事前準備等に時間が必要で、1年の期間で非公募により指定管理者を選定。

主なQ & A

Q 吉和魅惑の里の場合、売却先の事業者が不要な施設は解体も可能となるのか。

A 民間事業者の運営上で利用しないのであれば、解体することも可能である。

議会の意思を国政へ

今定例会では、1つの意見書が発議され、全会一致で採択されました。

地方財政の充実・強化に関する意見書（趣旨要約）

新型コロナウイルスの出現により、いま地方自治体には新たに多くの行政需要が発生しています。ワクチン接種体制の構築、防疫体制の強化、「新しい生活様式」への変化を余儀なくされた市民の日常生活から発生する問題など、あらゆる課題に即時の対応が求められています。それと同時に、医療・介護など社会保障への対応、子育て支援策の充実、地域交通の維持・確保など、少子・高齢化の進展とともに、従来からの行政サービスの拡大や将来に向けて必要となる財政需要に見合う財源が求められています。

こうした地方の財源対応について、政府はいわゆる「骨太方針2018」に基づき、令和3年度の地方財政計画までは、平成30年度の地方財政計画の水準を下回らないよう、実質的に同水準を確保してきました。しかし、新型コロナウイルスへの対応により巨額の財政出動が行われるなか、令和4年度以降の地方財源が十分に確保できるのか、大きな不安が残されています。

このため、令和4年度の政府予算と地方財政の検討にあたっては、地方一般財源の総額確保など11事項を確実に実現されるよう、強く要望します。

(11項目については、廿日市市議会ホームページでご確認ください。)

